

あぶくま農学校2001年冬季集中セミナーを開く

テーマ・「今、農業でメシがくえるのか」

農業公社と角田市農業経営者会議主催

角田市農業振興公社と角田市農業経営者会議が主催する「あぶくまの学校2001年冬季集中セミナー」が仙南シンケンファクトリーを会場に三回に分けて開催されました。

第一回目は、あぶくま農学校客員教授の東北大学院経済学研究所の大滝精一教授が「どうなる、今年の景気」と題して講演。今後の農業経営への影響や、設立が相次ぐベンチャー企業との関係とこれからの農業経営の可能性について話しました。

第二回目は、日本経済新聞社論説委員の金子弘道氏を招き、「日本農業の生きる道」と題し、全国の農業関係者への戦略の紹介と輸入攻勢で下落する農産物価格の現状を学び、これからの農業経営に対するアドバイスを受けました。

第三回目は、(株)藤崎快適生活研究所取締役の牛尾陽子氏を招き、「家庭発・高まる農業への期待」と題し、消費者から見た農業の

印象と期待。また、マーケティングの現場から見た、農業の可能性について講演を頂きました。



▲牛尾陽子氏



▲金子弘道氏



▲大滝精一氏

角田の農産物を目黒でアピール



住民の交流と親睦を深めようと10月22日、東京都目黒区の緑ヶ丘小学校を会場に、住区まつりが開催されました。このまつりは毎年行われ、会場となった小学校の校庭には、「資源リサイクルコーナー」「防災・防犯コーナー」「ふれあいコーナー」などいろいろなテーマのテントが並びました。

その中の「お役立ちコーナー」には、今年初めてJAみやぎ仙南角田地区青年部(星智宏委員長)が参加し、角田産の農産物のピーアールと即売が行われ、新米、ブロッコリー、ながいも等の新鮮野菜や梅干し、あぶくま納豆など飛びように売れました。また会場では、部員による餅つきも行われ、角田の味覚を振る舞い大変好評でした。

あぶくま農学校・パソコン教室開講 インターネット・ホームページ講座

インターネットを活用し、魅力ある農業経営を目指そうと、2月7日・8日の2日間、インターネット研修会が行われました。また、2月15日・16日には、生産者からの情報を世界に広げようとホームページの作成研修会が行われました。

会場となった角田市役所会議室にはパソコン15台を設置。参加した皆さんは、仕事を終えてからの、夜間の研修にもかかわらず、熱心に受講していました。

